2019年度放課後等デイサービス 自己評価の結果について

~アンケートのご協力、ありがとうございました~

放課後等デイサービス ソレイユでは、自己評価を実施し、「2019年度放課後等デイサービス自己評価結果」(保護者向け・職員向け)がまとまりましたので、ここに公表いたします。

これは、2017年度より指定放課後等デイサービス事業の指定基準等の見直しにより、 児童福祉法施行条例が改正され、関係諸法令の内容に沿った評価を全ての事業所が行うこ とになった事に伴うもので、評価を受けてその改善を図り、その内容を、概ね1年に1回 以上インターネト等で公表することが義務付けられました。

アンケートにご協力をいただきました保護者の皆様には、貴重なご意見やご要望をたく さんいただきまして、ありがとうございました。これからの参考とし、今後の支援に生か していきたいと思います。

自己評価の結果については、別紙のとおりです。



〒355-0802

埼玉県比企郡滑川町大字山田1798番地2

放課後等デイサービスソレイユ

TEL/FAX: 0493-81-1155 携帯電話: 070-1262-3441

I P電話: 050-5307-3441

E-mail: info@soleil-day.or.jp

保護者向け

放課後等デイサービスソレイユについてのアンケー

対象者:2020年2月のご利用者16名(回答者15名 回答率93%)

Q 1

建物や庭等子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか。また、事業所の設備等は、安全性 の配慮が適切になされているか。

(回答数:15)

はい 14

どちらともいえない 1

いいえ 0

無回答 0

Q 2

職員の対応や配置数等は適切であるか。

(回答数:15)

はい 14

どちらともいえない 1

いいえ
0

無回答 0

Q 3

子供と保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、<u>放課後等デイサービス計画※1</u>が作成されているか。また、活動プログラム※2が固定化しないよう工夫されているか。

- ※1 放課後等デイサービスを利用する個々の子どもについて、その有する能力、置かれている環境や日常生活全般の状況に関するアセスメントを通じて、総合的な支援目標及び達成時期、生活全般の質を向上させるための課題、支援の具体的内容、支援を提供する上での留意事項などを記載する計画のこと。放課後等デイサービス事業所の児童発達支援管理責任者が作成する。
- ※2 事業所の日々の支援の中で、一定の目的をもって行われる個々の活動のこと。子どもの障害特性や課題、平日/休日/長期休暇の別等に応じて柔軟に組み合わせて実施されていることが想定されている。

(回答数:15)

はい 13

どちらともいえない 1

いいえ 1

無回答 0

Q 4

支援の内容、利用者負担金等について丁寧な説明がなされ、領収書や受領書が不備なく渡されているか。また、子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか。

(回答数:15)

はい 15

どちらともいえない 0

いいえ 0

無回答 0

Q 5

日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができているか。

(回答数:15)

はい 12

どちらともいえない 2

いいえ 1

無回答 0

Q 6

子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知・説明 し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。

(回答数:15)

はい 14

どちらともいえない 1

いいえの

無回答 0

Q 7

個人情報に十分注意しているか。

(回答数:15)

はい 14

どちらともいえない 1

いいえの

無回答 0

Q8

非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか。

(回答数:15)

はい 10

どちらともいえない 5

いいえ 0

無回答 0

Q 9

子どもは通所を楽しみにしているか。

(回答数:15)

はい 13

どちらともいえない 2

いいえの

無回答 0

Q10

ご意見、ご要望等がございましたら、200字以内でご記入ください。

(回答数:6 無回答数:9)

- いつも遅い時間まで送迎までしていただき、ありがとうございます。
- 帰宅時の笑顔で、楽しかったことがわかります。
- 暑い日も寒い日も、送迎して頂き、ありがとうございます。
- いつも適切な対応ありがとうございます。
- 庭も広いのですが、雨の日でも吹き抜けの大きな部屋でブランコなどができ、とても楽しんでいるようです。

運営者・スタッフ向け

放課後等デイサービスソレイユ自己評価表

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・体制整備	1	利用定員は指導訓練室や庭等スペースとの関係で適切であるか	10	1		子供に合うよう、遊ぶ場所を工夫して使うようにしている。
	2	職員の配置数は適切であるか	10	1	8	新学期は状況によっては少ないと感じる ので、要工夫。
	3	事業所の設備等について、清潔かつ安全性の 配慮が適切になされているか	9	3	4	高い場所など、気を付ける場所が残っており、改善の必要あり。
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標 設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	6	4	1	
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアン ケート調査を実施して保護者等の意向等を把握 し、業務改善につなげているか	7	2	1	
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	4	2	2	
	7	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を 確保しているか	4	3	3	数年間なし。
適切な支援の提供	8	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者の ニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後 等デイサービス計画を作成しているか	8	2		4
	9	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化 されたアセスメントツールを使用しているか	4	3	2	ツールの使用はないが、伝達や話し合い によりカバーしている。
	10	活動プログラムの立案をチームで行っているか	6	3	1	その月ごとの立案が多く、大きなスパンで の立案もしたい。
	11	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	7	4		子供に合わせることが多いので、改善する。
	12	平日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに 設定して支援しているか	6	5		人員確保の問題があり十分ではない。エ 夫していく。
	13	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を 適宜組み合わせて放課後等デイサービス計画 を作成しているか	7	2	al a	常に十分とはいかず、今後も工夫し続ける 必要がある。
	14	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その 日行われる支援の内容や役割分担について確 認しているか	12	P		
	15	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた 点等を共有しているか	10	D	2	書面か伝達になるので、全員に共有出来 るよう工夫し続ける。
	16	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底 し、支援の検証・改善につなげているか	12			
	17	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイ サービス計画見直しの必要性を判断しているか	6	3		
	18	関係法令等に遵守しての基本活動を複数組み 合わせて支援を行っているか	6	2	-	

関係機関や保護者との連携	19	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議 に児童発達支援管理責任者が参加しているか	11	g - P		
	20	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか	10		1	学校側である程度セーブされており、 十分ではなく要改善。
	21	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	5	2		
	22	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、 それまでの支援内容等の情報を提供する等し ているか	6	1	2	
	23	障害のない子どもと交流すること等を目的として、近隣の公園や施設に出かけて遊ぶ機会があるか	9	3	a de la companya de l	スタッフが確保出来たら、勉強もしたいと思う。
	24	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加して いるか	7			
	25	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子 どもの発達の状況や課題について共通理解を 持っているか	12			
保護者への説明責任等	26	運営規程、支援の内容、利用者負担等につい て丁寧な説明を行っているか	7	. 1		
	27	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	11			
	28	個人情報に十分注意しているか	11			*
	29	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や 情報伝達のための配慮をしているか	10	1	2	
	30	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出そ の他必要な訓練を行っているか	11	1		全員揃うことが難しいので、課題といえる。
	31	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保 する等、適切な対応をしているか	5	2	3	保護者へのサポとも必要。 数年間なし。
	32	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に 事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等 デイサービス計画に記載しているか	5	2		
	33	食物アレルギーなどのある子どもについて、保 護者の指示などに基づく対応がされているか	12			
	34	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有 しているか	8	1	3	事例集があるとよいので、工夫が必 要。